

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、6月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(海野隆平委員長)

所管事務調査

○三重県鳥羽市

(調査事項)

定住促進事業と人口対策問題について

鳥羽市では、定住の取り組みとして、平成23年度より定住応援事業奨励金を交付しており、新築住宅を取得した場合、100万円、中古住宅を購入した場合、50万円を交付している。

また、近鉄名古屋線電車内の広告を利用し、定住応援や子育て支援事業等鳥羽市の魅力の高さを感じた。



鳥羽市の車内広告ポスター

力を伝える広報活動を実施していた。

○三重県名張市

(調査事項)

自主防災組織等の取り組みについて

名張市では、自主防災組織について、15の地域組織があり、地域住民により自主的に結成されている。市内の組織率は100%であった。名張市には、危機管理室が設置されており、各関係機関と連携をとり、常日頃から防災に対する啓発活動の高さを感じた。

本市も危機管理室の設置等により、防災意識の高揚と訓練に努めるべきである。

☆曾於市過疎地域自立促進計画の変更について

曾於市のクリーンセンター施設整備事業が追加され、総事業費は15億2469万円である。

平成27年度から31年度まで施設の長寿命化を目的とした大規模改修を行うものである。

☆いじめ問題調査委員会設置条例の制定について

いじめ防止対策委員会が設置され、その報告を受けて、市長が必要と判断した時に、いじめ問題調査委員会を設置するとあるが、自動的に調査委員会は開催できないのか。

答 市長が一人で判断するということよりも、その前の教育委員会のいじめ防止対策委員会の委員で弁護士を含めた専門家が協議した結果において総合的に判断される。

☆平成27年度曾於市一般会計補正予算(所管分)

選挙管理委員会費は、投票所再編による先進地視察研修の旅費が主なものであるが、研修先はどこか。

答 島根県の松江市を予定している。11か所に臨時の期日前投票所を開設している。また、投票日当日に投票所を巡回する無料バスの運行をしているため、研修地に選んだ。

問 教育債の小学校施設整備事業は。

答 外壁等落下防止事業に対する起債である。

問 財団法人自治総合センターからのコミュニティ助成事業はどこか。

答 財部北地区公民館に250万円、末吉南部地区公民館へ

250万円備品購入の助成である。

陳情書

☆曾於市末吉町諏訪方蔵之町地区内の廃ビニール破碎洗浄処理施設建設に反対する陳情書(第7号)

☆末吉町諏訪方蔵之町地区に建設予定の廃ビニール破碎洗浄処理施設建設に反対する陳情書(第8号)

いまだに資料等もなく事業主からの事業に対する詳しい説明がなされていない。水利組合に対して何ら説明がされておらず、排水計画すら提示されていない。水利組合を無視しているなど、これまでの経緯について説明があった。本陳情は7号・8号とも全会一致で採択とした。

文教厚生常任委員会

(今鶴治信委員長)

所管事務調査

○長野県須坂市

(調査事項)

在宅医療福祉について

在宅で看取りができる地域をめざし、リビング・ウィルの文化を広げることが目的に「終末期医療・ケアについての生前の意思証明書」を作成し、患者家族の不安解消に寄与され、あらゆる角度から取り組まれていた。

また、須高地区は、県立須坂病院・新生病院・轟病院の大きな中核になる病院があり、訪問診療や訪問介護などが充実している。在宅医療・介護連携がスムーズに行われている。

曾於市には、中核病院が曾於医師会立病院のみで須坂市と同様な事業は難しいと思われるが、重要なのは、訪問介護サービスの対応であると説明を受

対策の推進を図っていた。

今後の課題は、新規相談者の掘り起し、相談窓口の積極的な周知の検討。また、相談担当者の資質の向上と専門相談員の高齢化に伴う専門相談員の確保です。

曾於市も今年度自殺予防対策事業はモデル地区として市内1公民館に悩みを抱えて自宅に閉じこもりがちな

方々が自由に集まれる「茶飲み場」的な施設の運営を始めることから自殺予防対策が期待される。

○長野県松本市

(調査事項)

自殺予防対策について

松本市では、例年50人前後の自殺者が発生する危機的状況を踏まえ、市民とともに予防対策を考え全市を挙げて自殺対策の推進を図っている。施策として、平成21年度から、医療・産業・教育・地域各分野の専門機関、団体による「自殺予防対策推進協議会」及び市内各関係部署による「市内連絡会議」を設置している。「松本市自殺予防対策推進計画」に基づき、総合的な自殺予防

○大隅中学校

平成26年3月には志布志中学校、大崎中学校との合同チームによるソフトボール九州大会で優勝を果たした。

また、年4回の「弁当の日」は生徒が自ら弁当を手作りすることで家族への感謝、自分で出来ることを探し、生きる力が身につくことを目指している。

○岩南小学校

全児童数9名が「花とカヌーとパソコンの学校」の重点目標及び特色ある教育活動として取り組んでいる。全校児童がスポーツクラブに所属し、カヌー・一輪車・駅伝などで体力作りに励んでいる。

○岩北小学校

全児童数17名「夢と花とあいさつで笑顔あふれる岩北小」がキャッチフレーズです。平成26年に開催された「全国少年少女カヌー大会」で女子カヌーシングルの部において

女子児童が優勝し、平成27年2月に「鹿児島いきいき教育活動表彰」を受賞された。

まとめ

10月から実施予定の土曜授業は、学力の向上や地域の方々との交流などが予定されており、今後の成果が大いに期待される。

☆平成27年度一般会計補正予算(所管分)

生活支援センターの相談内容は。

答 就労相談は、4月5月が25人で延べ67回の実績があった。ハローワークへ相談員と一緒に行き、面接の練習や履歴書の書き方等の手続きを対応している。

問 小学校施設整備事業について、今回事業計画になかった岩北小の改築はいつ頃を考えているか。

答 現時点では、財政

事情を考慮し、平成31年度以降の見通しであり、改築までに校舎外壁等の落下の恐れがある場合は、児童の安全のため一般財源で対応する予定である。

問 適応指導教室指導員設置事業について、利用状況はどうか。

答 5月から中学校2年生1人、6月から中学校3年生1人の生徒が通っており2人も保護者が送迎し、適応教室指導員のもとで午前9時から午後4時まで自学自習している。また、出席日数にも含まれる。



学校訪問 (岩南小学校)

建設経済常任委員会

(八木秋博委員長)

所管事務調査

○曾於市地区春季畜産品評会(平成27年4月14日～16日)が曾於地区畜産共進会出品の選考をかねて行われ、出品頭数は大隅43頭、末吉36頭、財部33頭でそれぞれ12頭が代表牛に選ばれた。



曾於地区春季畜産共進会

○曾於地区春季畜産共進会(平成27年5月14日)においては1部から4部まで曾於市出品牛が上位独占という好成绩であった。本年10月に県共進会が開催され更に上位入賞が期待される。

○山形県鶴岡市・庄内町(調査事項)

環境保全型農業の取り組みについて・農産物ブランド化戦略

両調査地は、日本有数のブランド米「コシヒカリ」「ササニシキ」や「つや姫」の一産地である米どころ庄内平野を持つ地方である。消費者意識の高まりから安心安全、良食美味米の需要と人口動態等から米の消費減少という現状に立ち向かい「つくった米を売る」農業から「売れる

米をつくる」農業への取り組みがなされていた。需要を意識した米づくりとブランド化の為、有利販売を考慮した有機肥料を用いた有機栽培と化学肥料、農薬を慣行栽培の5割以下にした特別栽培米の拡大により、商品性の高い差別化戦略を推進されていた。

農業粗生産額に占める米の依存度は60%から80%と高く、曾於市の畜産80%と相通ずるものがあった。産地としての「こだわり」を持ち、突出したブランド化により競産地の「勝ち組」を目指していました。

なお、鶴岡市温海町は旧大隅町と姉妹盟約締結がされており、また、庄内町は種籾「亀の尾米」の調達が縁で、財部町中谷地区との民間交流がなされている。

☆曾於市有住宅条例の一部改正

問 旧深川駐在所跡施設の経緯と今後の活用は。

答 鹿児島県警の駐在所再編に伴い3月に廃止となり土地は市が県へ貸付していた。建物は市へ無償譲渡され住宅2戸を市有住宅とし、事務所は地域交流施設として活用される。

☆平成26年度曾於市一般会計補正予算(所管分)

問 道の施設管理費の内訳は何か。

答 曾於市にある3つの道の駅にそれぞれ電気自動車急速充電器を設置するもので、インフラ整備促進事業補助金にて賄われる。

問 地域振興住宅建設事業の本年度の公募状況と主な補正の内訳は。



所管事務調査 (山形県庄内町)

答 本年1月～3月に募集49名の申し込みがあり、現在9戸を内定しており、その内5ヶ所の用地を新規購入予定である。

また、地盤改良事業と外構工事費用を補正計上したものである。

問 農山漁村活性化対策整備交付金の内容は何か。

答 農林水産業費国庫補助金であり内訳は、おお鹿児島農協主体の農産物直売施設整備事業補助金である。場所は大隅町八合原台地、県道志布志福山線沿いの計画である。

答 これまで対象者を満70歳以上と65歳以上の寡婦者畜産農家とし